

郵便不正事件公判

村木被告へ指示否定

厚労省元上司 偽証明書作成で

郵便不正事件で、偽証明書の作成に関与したとして虚偽有印公文書作成・同行使罪に問われた厚生労働省元局長、村木厚子被告(54)

張する、石井一・民主党参院議員(76)の口添えについても、捜査段階では認めたとされていたが「実際には記憶にない」と述べた。

などで公判中から証明書発行の協力を要請された。その上で、村木被告に発行に向けた便宜を指示した、とされる。元部長は検察側の質問に「大阪地検特捜部から取り調べを受けた時点で、(証明書発行が)『政治案件』として報道されていた。電話を受けるとしたら私だろうと思う、(口添えを認めた)調書には

サインしたが、実際には記憶にない。検事からいろいろ話をつなぎ合わされた」と証言した。
【日野行介】

||官房付||の第5回公判が8日、大阪地裁であった。上司だった元部長(58)が証人出廷し、村木被告への作成指示について「事実ではなかったと思う」と否定した。検察側が主

||官房付||の第5回公判が8日、大阪地裁であった。上司だった元部長(58)が証人出廷し、村木被告への作成指示について「事実ではなかったと思う」と否定した。検察側が主

張する、石井一・民主党参院議員(76)の口添えについても、捜査段階では認めたとされていたが「実際には記憶にない」と述べた。

などで公判中から証明書発行の協力を要請された。その上で、村木被告に発行に向けた便宜を指示した、とされる。元部長は検察側の質問に「大阪地検特捜部から取り調べを受けた時点で、(証明書発行が)『政治案件』として報道されていた。電話を受けるとしたら私だろうと思う、(口添えを認めた)調書には

サインしたが、実際には記憶にない。検事からいろいろ話をつなぎ合わされた」と証言した。
【日野行介】